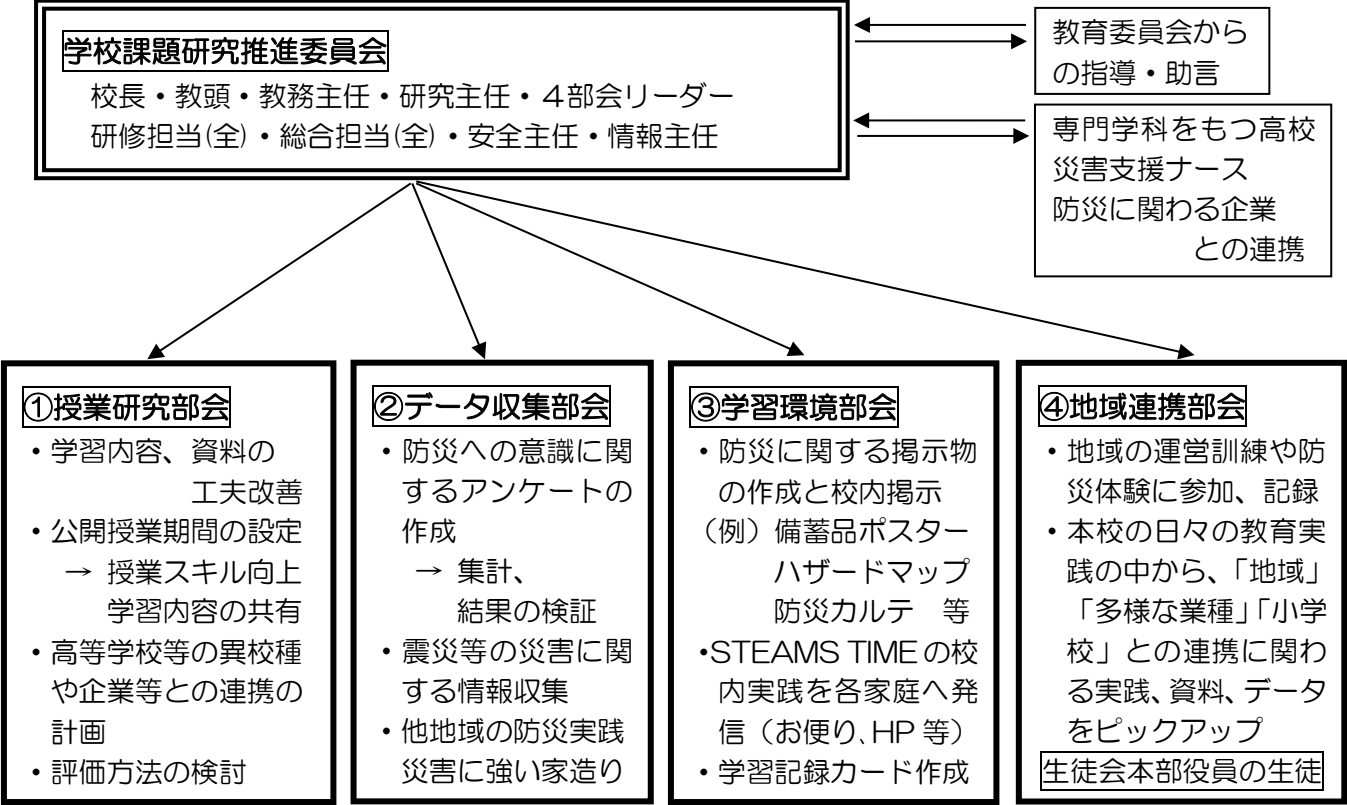


日付	曜	防災教育 × STEAMS 教育	児童生徒のエージェンシーをはぐくむコミュニティ・スクール	指導訪問 A ※教科(教科会)
5/12	月	学校課題研究推進委員会 ・研究発表までの取組計画の検討 ⇒ 全教職員へ周知 ・4部会の役割と作業内容の確認 ①授業研究 ②データ収集 ③学習環境 ④地域連携		
《研究発表に向けた4部会の取組内容》 ①授業研究：総合の時間を使い、「災害に強いまちづくり」について生徒達自身が課題を設定し、課題を解決するための探求的な学習を進め、生徒達が選択した学習方法で「まちづくり」の設計・デザインを発表する。(手書き・立体模型・教育版 MINE CRAFT・PowerPoint・Canva 等) 【1学期】(1)「災害に強いまちづくり」についての「課題」を生徒が設定し、調査を始める。 (2) 学習方法を選択できるよう MINE CRAFT 等の未使用ツールを使ってみる。 【～9月】(1)「課題」の「解決策」を探求し、発表方法を決めて設計・デザインをまとめる。 (2)「中間発表会」として学級内発表を行い、生徒同士でアドバイスをし合う。 ※投影機器の都合で2班ずつ発表を実施 ⇒ 各学級、本番で発表する代表2班を決定 ★【10月】2・3階フロアで「災害に強いまちづくり発表会」をワークショップ形式で開催し、市内教職員・連携高校・学校運営協議会・PTA の方に本校の研究を参観していただく。 ※2・3年生共通の学習指導案で展開し、事前に「学年内発表」を実施する。(別日) ※発表当日は生徒を「A」「B」に分け、前後半の時間帯で交代しながら他学年の発表を見合い、参観記録を取る。教室内の参観者がゼロにならぬよう見学割振りを行う。 ②データ収集：本校独自の「八王子防災アンケート」を作成・実施し、比較分析・結果検証を行い、本校の研究データとして研究発表を行う。 【～5月】第1回「八王子防災アンケート」を全学年「生徒」を対象に実施する。 【～7月】上記アンケートの結果をグラフにまとめる。 【～8月】地震・水害等の震災に関わるデータ情報を収集し、掲示物にまとめる。 【～9月】(1) 第2回「八王子防災アンケート」を全学年「生徒」「保護者」を対象に実施する。 (2) アンケートの結果をグラフにまとめる。(「生徒」「保護者」別) (3) 第1回と第2回の結果を比較分析し、検証して変容をまとめる。 ★【10月】「八王子アンケート」2回分の「生徒」結果を発表する。「保護者」結果を提示する。 【12月】(1) 第3回「八王子防災アンケート」を全学年「保護者」を対象に実施する。 (2) アンケート結果をまとめ、「エージェンシー」の発表に活用する。 ③学習環境：(提案いただいた通り) 生徒会本部・生徒専門委員会ごとに決められた「防災と地域連携」に関わるテーマの研究を推進し、「災害発生時、八中生の一人ひとりが地域の防災エージェンシーとなって活躍する」ことを目指す。 【～7月】生徒会・各委員会内で役割分担をし、それぞれのテーマを実現する方策を検討する。 【～9月】(1) 方策を朝会で発表したり、掲示物や展示品で紹介したりする。例 八中防災 BAG (2) 2階多目的室前～職員玄関前・会議室廊下～3階相談室前のエリアに掲示する。 ★【10月】生徒会・各委員会内での研究成果を発表する。 ④地域連携：生徒会本部役員を中心に、中央区役所や学校運営協議会へ災害発生を想定した座談会の設定を依頼し、「共助」の観点から「中学生ができること」を話し合う。座談会内容を整理・検討し、「避難所ジュニアリーダー」として、地域・PTA 等に共助のアイディアを提言する。 【6月】「中央区避難所運営訓練(6/8(日))」に生徒・教員が参加し、記録を取る。 【～9月】学校運営協議会との座談会を実現し、共助のアイディアを発信するためにまとめる。 ★【10月】上記の実績を発表する。 ★【11月】「児童生徒のエージェンシーをはぐくむコミュニティ・スクール」で発表する。				

日付	曜	防災教育 × STEAMS 教育	児童生徒のエージェンシーを はぐくむコミュニティ・スクール	指導訪問 A ※教科 (教科会)
6/23	月	校内研修 《教職員全員》研究発表に関する年間スケジュールを確認 《部会リーダー》4部会の研究進捗状況・今後の活動予定を共有①		
7/14	月	校内研修 《地域連携》「中央区避難所運営訓練」の参加報告 《部会リーダー》4部会の研究進捗状況・今後の活動予定を共有② 《データ収集》第1回「八王子防災アンケート」の結果報告 《各部会》夏休みの作業内容確認・役割分担 ※「研究紀要」の原稿作成・発表パワポ資料の役割分担 ※		
8/20	水	夏季研修 《部会リーダー》4部会の研究進捗状況・今後の活動予定を共有③ 《授業研究》2学期の総合の授業計画を報告 《データ収集》第2回「八王子防災アンケート」の実施計画を報告 《学習環境》各委員会の発表方法・発表時期を報告 《地域連携》行政機関との連携内容を報告		夏季研修 ・研究授業者の決定 ・研究協議題の決定
8/21	木	夏季研修 ～小中合同研修会～ 《安全担当》 ・合同引渡し訓練の打ち合わせ (R8.01.10)		
9/1	月	・さいたま市総合防災訓練：荒川総合運動公園 AM3年生全員派遣、政府関係者参加、メディア撮影、防災課バス手配		
9/16	月	校内研修 《地域連携・研究主任》「市総合防災訓練」の参加報告 《授業研究》研究発表当日の学習指導案を提案 《データ収集》2回実施のアンケート結果を比較分析し、変容を報告 《学習環境》各委員会の研究成果を展示・掲示 《管理職》「研究発表実施の案内」作成・市内送付 9/22(金) ※「研究紀要」原稿〆切 ※ 9/19(金) ⇒ 印刷業者提出 ⇒ 校正2回 ⇒ 市教委送付 10/3(金) ※「学習指導案」原稿〆切 ※ 9/26(金) ⇒ 管理職点検 ⇒ 校内印刷 ⇒ 市教委送付 10/3(金)		
10/14	火	校内研修 《部会リーダー》4部会の研究進捗状況・今後の活動予定を共有④ 《各部会》研究発表当日に向けた準備		※「学習指導案」 原稿〆切 ※ 11/17(月) ⇒ 管理職点検 ⇒ 校内印刷 ⇒ 市教委送付 11/21(木)
10/20	月	校内研修 《各学年》2・3年生の発表資料の仕上がり状況を共有 《各部会》研究発表当日に向けた最終準備 《管理職》校内展示・掲示・パワポ発表資料の最終確認		
10/28	火	研究発表当日 ・5校時：ワークショップ形式「災害に強いまちづくり発表会」 2、3年生をA、B 前後半に分けてプレゼンと参観を実施 ※1年生4時間授業 2、3年生5校時終了後下校 ・全体会：体育館（全体会会場 兼 参会者控室） ・ゲスト：市内教職員、連携高校教員、学校運営協議会、PTA		

日付	曜	防災教育 × STEAMS 教育	児童生徒のエージェンシーをはぐくむコミュニティ・スクール	指導訪問 A ※教科(教科会)
11/17	月			校内研修 - 指導案最終点検 - 分科会の役割分担
12/8	月	校内研修 ≪データ収集≫ 第3回「八王子防災アンケート」を全学年「保護者」を対象に実施	校内研修 ≪地域連携・研究主任≫ 「エージェンシー」シンポジウムのパワポ発表資料の作成	
12/15	月			市教委指導訪問 A - 研究授業 - 研究協議(分科会)
1/8	木	≪データ収集・教務主任≫ 第2回・第3回アンケート結果を比較分析し、変容をグラフ化して学校だよりに掲載	校内研修 ≪地域連携・研究主任≫ 「エージェンシー」シンポジウムのパワポ発表資料の共有	
1/?	?		シンポジウム当日 ≪地域連携・研究主任≫ - 生徒会本部役員 「エージェンシー」 社会参画を通じて、子ども達が主体的に、より良い社会を創造することに関する発表 - パワポ資料持参	
2/9	月	・今年度の研修まとめ		

＊八王子中学校 研究体制組織図＊



研究部会	教職員メンバー(案)					◎…リーダー	(敬称略)
①授業研究部会	◎木村町田	◎山口片柳	加藤	岡本	(佐藤貢)		
②データ収集部会	◎桐島嘉藤	◎渋谷三浦					
③学習環境部会	◎櫻庭小島	◎黒田鈴黒田祥	及川	佐藤な	内川	落合	
④地域連携部会	◎酒井鈴木	◎畑崎五十嵐	釘田	青山	(佐藤貢)		